

革新する技術、創造する未来～夢へ翔る熊本高専～

熊本高専だより

KUMAMOTO KOSEN No.37

2024.8
夏号
SUMMER

今号のテーマ 新入生を迎えて



Contents

- | | | |
|------------|-----------|------------------|
| 01 巻頭のことば | 10 学生たちから | 15 新年度を迎えて |
| 03 新入生を迎えて | 12 特集 | 17 諸だより |
| 05 新入生から | 13 人事異動 | 18 News & Topics |



新年度を迎えて

校長 高松 洋

令和6年度の入学式を多くの保護者の皆様ご列席のもと熊本県立劇場で挙行でき、今年も多くの入学生と編入学生をお迎えすることができましたこと、大変嬉しく思っております。すべての学生の皆さんが、充実した学生生活を送りながら将来の基礎をしっかりと造っていかれることを心から願っています。

高専教育の特徴は、15歳から5年間の一貫教育であり、低学年で開始する専門教育と実技や実験、実習を大事にした教育であると考えられています。その結果が卒業生に対する高い求人倍率に表われているのは間違いありませんが、その反面、5年一貫教育であるゆえに内在する難しい点があると感じています。それは在学中に子供から大人になるということです。高校の場合は、卒業して大学に進学すれば、明らかに環境が変わり、教員の学生に対する接し方が変わります。これに対して、高専の

場合は制服から私服が変わるといった違いがあるものの、環境ががらりと変わるわけではありません。したがって、ともすれば学生、教員のいずれもが低学年の意識を引きずる可能性があります。そこで、できるだけ学生の皆さんの主体性を重んじる教育に少しずつシフトし、早い段階で自分の責任は自分でとるという意識を持ってもらうようにしたいと考えています。

その一つが、保護者懇談会の際にも申し上げた進級制度の見直しです。今年から進級要件や、残念ながら原級留置となった後の科目の履修方法を変えると同時に、授業録画配信システムを整備して学生の皆さんが自分で学びやすい環境を整えました。八代キャンパスでは試行的に校則の緩和も行いました。これらはいずれも上記の考え方に基づいています。高専ではロボコンをはじめとした様々なコンテスト等に自ら参加し、自分のポテンシャルを上げるという文化が根付いています。是非、すべての学生の皆さんが自主的に行動し、充実した毎日を過ごすことを願っています。

もう一つ、学校全体の「場の雰囲気」を変えようと思ってスタートしたのが昨年の熊本高専だよりNo.35でも紹介した「熊本高専ファーストペンギンズプロジェクト」です。起業家の輩出というより、様々な分野や様々な局面で新しいことにチャレンジする気持ちを持った学生が育つ学校にしたいと思っています。本号でも紹介していますが、他高専にはない素晴らしい雰囲気のコワーキングスペースを両キャンパスに整備することができました。このスペースを皆がワクワクしながら有効に使ってアイデアを出しあって、新しい「もの」や「こと」が生まれることを期待しています。

どういう取り組みであれ、学校教育には保護者の皆様や地域の方、企業の方など多くの方々からのご支援が欠かせません。皆様のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

新入生を迎えて

熊本キャンパス奨学後援会 会長 森川 治雄



新入生をはじめ、留学生・専攻科生のみなさん、熊本高専へようこそ！
この4月から本校の一員となられたみなさんも、新しいキャンパス生活にも慣れ、新しい友人もできたころではないでしょうか？

ニュースなどでも報じられているように、熊本には世界的半導体企業が進出し操業を本格化します。これに伴い関連する知識・技能を持つ人材が必要となることから、本校への期待度が高まっていることはご存知かと思います。

みなさんの多くもいずれそのような企業の「エンジニア」を目指していると思います。

本校で基礎基本となる知識や技能を身につけるのはもちろんですが、それに合わせてぜひ「学ぶことの大切さ」も理解してほしいと考えています。

そのためにも日々の授業だけでなく部活動や電波祭などの活動で、先生方や仲間とのコミュニケーションも大切にしてもらえたらと思います。

「高専」はエンジニアを目指す若者に最高の学びの場です。充実した学生生活を満喫してください。奨学後援会は、高専で学ぶみなさんの活動を支え、充実した学校生活の一助となるよう応援しています。

新入生を迎えて

八代キャンパス後援会 会長 馬越 晋



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そろそろ高専での生活にも慣れ、充実した日々をお過ごしのことでしょう。在学生の皆さんもそれぞれのステージで様々な目標に向かって努力されていることと思います。

熊本高専は、技術と知識の探求において、皆さん一人ひとりの可能性を最大限に引き出す場所です。ただ学ぶだけでなく、自ら考え、行動し、創造する力が育まれます。皆さんがこれから学ぶことは、未来の社会を形作る重要な基盤となるでしょう。

後援会として、私たちは皆さんの学びを全力でサポートします。学業はもちろん、スポーツや文化活動、または学生会活動など、多岐にわたる分野での挑戦を応援し、皆さんが夢に向かって進むための環境を整えていきます。

皆さんが熊本高専での日々を通じて、自分自身と向き合い、自分の道を切り開いていくことを心から願っています。時に不安や困難を伴うかもしれませんが、それらを乗り越えることでより成長していけるはずです。皆さんの未来が、希望に満ちたものでありますように。

保護者の皆さまにおかれましては「手は離しても目は離さず」のお心で、これからも子どもたちを見守っていただけると幸いです。後援会活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

高専生活をどう過ごすか 教務主事(熊本キャンパス) 小田川 裕之



新入生の皆さんに伝えたいことは、勉強に追われるだけの5年間にはしないでください、ということです。高専生活をどう過ごすのか、重要テーマですが答えは一つではありません。

東京工業大学名誉教授の矢野眞和先生は、高専生の学習成果とキャリアに関する調査結果について、「学業成績を重視する『理論派』と、学校満足度の高い『人脈派』と、技術者としての汎用能力が高い『実践派』の学生が共存しながら学んでいる姿が想起される」と述べておられます。私なりに解釈すると、①学習が好きで成績が向上することに喜びを感じる人、②友人との課外活動や国際交流、地域の方々との連携に楽しさを感じる人、③電子回路や機器、プログラミングなど自分で作れるようになり没頭する人、④それ以外に独自に高専の楽しみ方を発見する人。どれも正しい高専の過ごし方です。全て等しく完璧にやる必要はありません。重点的にやりたいことと、ほどほどにやることのメリハリが大切だと思います。どこに力を入れようとも、本気で取り組んだことであれば、それを生かして将来いい仕事ができるようになる、そういう要素が高専生活にはあると信じています。

一人でできることは限られますので、クラスの仲間、教職員、地域の方々などを巻き込んでいろいろ挑戦して欲しいと思います。自分とは違う多様な仲間を相互にリスペクトし協力することも成功には欠かせません。皆さんの5年間の活躍を期待しています。

失敗を恐れずにチャレンジ! 学生主事(八代キャンパス) 東田 洋次



新入生のみなさん、本校に入学して数ヶ月経ちましたが、学校生活には慣れましたか。私も今年度から学生主事を担当し、少しずつ慣れてきたところです。新入生研修、高校総体、高専体育大会などいろいろな行事に参加し、高専での学校生活を楽んでいますか。この夏号が発行される時には、前期末試験も終わっている頃かもしれませんが、楽しく勉強できていますか。高専生として、勉強はしないとイケませんが、4月からを振り返って、熊本高専に入学してやりたかったことはできていますか。高専は普通高校よりも自由な時間があり、部活でもコンテストでも旅行でも留学でも、みなさんがやりたいことを実現できる環境が熊本高専には

あると思います。われわれ教職員もみなさんの活動の手助けを行います。失敗を恐れずにいろいろなことにチャレンジしてください。私の好きな映画「スターウォーズ」のキャラクター、ヨーダが映画の中で弟子に次の言葉を語っています。「The greatest teacher, failure is.」(失敗は最大の師である。)人生の中で失敗することも多々ありますが、失敗を恐れてやめるより、チャレンジする人生を選んでください。特に学生の時の失敗は取り返すことができます。さらに、いろいろな人とコミュニケーションをとることで、自分の失敗が他の人に役に立つこともあります。ぜひ、高専でしかできないことにチャレンジしましょう。

ご入学おめでとうございます。寮務主事(熊本キャンパス) 堀本 博



新入寮生のみなさんは新生活を開始してしばらく経ちましたがいかがでしょうか。新しい生活圏になり何事も新鮮に感じ、刺激いっぱいの日々を送っているのではと思います。在校生もたくさんの初々しい新入寮生に来てもらい、新鮮な雰囲気をつけてもらい活気づいています。

学校でもですが寮では、より身近に先輩達が生活面や勉強面を始め多方面で見守り応援してくれます。困ったことなどあったら、皆さんが入寮してくることを心待ちにしていた先輩たちに気軽に相談してみてください。毎月いろいろなイベントも企画されます。参加活動する中でも同級生や先輩との輪を広げてください。留学生も多数入寮していますので、一緒に生活することを通して視野を広めていくきっかけになるのではと思います。

この5年間は最も多感で心身ともに大きく変化していく時期になります。一緒に暮らす仲間と、楽しいこと嬉しいことをたくさん経験し、苦しいこと辛いことも協力して乗り越えていってください。ここで生活した経験は卒業後にさらに広がる世界でも活かされると思います。

関係教職員スタッフ一同もスムーズな新生活のスタートから充実した寮生活に向けて応援していきます。みなさんの活躍を期待しています。

「なんのために学ぶのか」 研究主事(八代キャンパス) 田中 裕一



池上彰さんの『なんのために学ぶのか』(SB新書)を読んだことはありますか?昨年公開のスタジオジブリの『君たちはどう生きるか』とタイトルが似てるなあと思いつつ、読んでいませんでした。先日、書店で子供が「何かお薦めの本はあるか?」と聞くので、「池上彰さんの本だから、多分読み易いと思う。」と答えました。この執筆に丁度良いかと思って、感想を尋ねたら「面白かった。」と言うので、私も読んでみました。

池上さんは、NHKで、さまざまな事件、災害、教育問題、消費者問題を担当した後、テレビの『週刊こどもニュース』や『池上彰のニュースそうだったのか!!』で活躍され、分かり易く丁寧な解説で人気があります。

この本は、池上さんが「せっかく大学に入ったのに、学ぶ意味や意義がわからない人がいたら残念なことだ。」と思い、大学生に向けて話されたことを基に、流石の内容でまとめられています。

本の帯に、「勉強はたいていつまらないもの。でも学んで損をするということはない。」とありました。「同じ本を読んで感想を言い合う。」ような時間も実は大事とありますので、試してみても如何でしょうか。

本校では、在学中に何か一つでも面白いと思ってもらえるように、研究・地域連携についても様々なメニューを用意しています。自分の頭で考え、ある程度広い教養を身につけられると人生が楽しくなるかもしれませんよ。

新入生研修を経て



機械知能システム工学科1年 前田 直人

芦北での新入生研修では多くの学びがありました。他学科の学生とも一緒に活動し、1年生という輪の中で仲を深めることができましたと思います。前日の事前研修でも班で仲を深める活動をしていたので、すぐに打ち解けられました。午前中のウォークラリーでは、きれいな海を眺めたり、木陰で涼みながら話をしたりと、それぞれに仲を深め合っていて、研修の意義を感じました。私も班員と小さなことで笑い合えるくらいに仲良くなりました。午後からはペロン船に乗りました。折り返し地点を過ぎる頃

には息も合い、荒れた波にも負けずしっかり漕ぐことができました。今回の研修は、班員の協力がなければゴールどころか体験すらできなかったのが良い経験になりました。コミュニケーションの大切さと仲間の心強さ、周りのことまで考える大切さを日頃の生活にも生かし、学科が違っても同じ高専の1年生として切磋琢磨し、互いを気にかけてながら過ごしていこうと思います。



高専に入学して



情報通信エレクトロニクス工学科1年(1年1組) 水上 康乃介

ころだと思います。

高専生にはたくさんの自由がありますが、そのかわり自分のことは自分で決め、責任を持ち自主的に行動していかなければなりません。私はこれからの高専生活で時間をうまく使いこなし、勉強と部活を頑張り、新しいことにも挑戦していきたいです。

私が高専に入学して早2か月が過ぎました。入学式を思い返してみると、期待より不安が大きく、緊張していたのをよく覚えています。

私は入学する前、高専に対して勉強の難易度が高いというイメージを持っていました。実際に入学してみると、想像通りに勉強の難易度は高いですが、想像していた何倍も楽しい学校でした。

私が思う高専の良い所は、専門科目を詳しく学べるところ、校則などが自由なところ、同級生も先輩も面白く学校の雰囲気がいいところ、部活に熱中でき兼部ができると



寮での出来事は一生もの



建築社会デザイン工学科1年 谷川 豪

私は大阪府から八代キャンパスに入学しました。学校生活はもちろん、本校特有の授業や、なんといっても寮生活は私にとって、とても大きな存在です。寮に入る前は「同部屋の子と仲良くなれるか」、「大阪から来たことが友人関係に影響しないか」など多々思うことがありました。しかし寮生活が始まると、先輩方の指導や、優しい同部屋の子、同級生などの強い支えがありました。寮生活がスタートして1か月が経ち、とても濃い日々だったと思います。友達と入る風呂、何回も回ってくる当番、

会話をしてくれる友達と笑いあえることなど色々ありました。「本当に1か月経ったの!？」と驚きです。毎日の些細な出来事1つ1つが積み重なり、生き延びていけることがとても素晴らしいことだと改めて思います。1か月でこの経験の濃さはすごく、一生忘れることはないと思います。これから寮で過ごす1日1日を、期待と不安もありますが、大切に過ごしていきたいです。



高専に入学して



人間情報システム工学科(1年2組) 多田 隈 治己

熊本高専に入学してから2ヶ月が経過し、高専生活にもだんだんと慣れてきました。始めは緊張や不安もありましたが、先生方は分かりやすい授業をしてくださり、クラスの仲もクラスマッチや研修を経て深まりすぐに仲のいい友達ができました。

学校生活は、自由な校風や4・5年生の先輩方も活動している部活動、普通高校では味わえない体験が沢山あり、とても新鮮で楽しい日々を過ごしています。高専は、忙しいことも多いですが、その中で新たな発見や挑戦が沢山あります。自分の興味や才能を見つけることができる場であり、それが将来の進路

実現にもつながっていくことを感じています。

勉強では専門科目も増え、難しい単元や覚えなければならないことも沢山でてきました。しかし、仲間と共に理解を深め合いながら予習復習を行っていけば乗り越えられると思います。

これからも、高専生活を充実させながら、将来に向けてのスキルや考え方を磨いていきたいと思っています。



高専に入学して



生物化学システム工学科1年 木村 月乃 蘭

中学校を卒業したのが最近だということが信じられないほど、高専に入学してから時間の流れが速く感じます。初めは、慣れない土地で初対面の人との生活に不安を感じていましたが、研修や寮生活の関わりで仲間も増え、とても充実した日々を送っています。勉強は、中学校と制度も授業時間もスピードも違い、復習が大変だと感じることもあります。しかし今は、自分の興味がある専門教科が加わりとても楽しく学んでいます。わからない時でも、先生方は理解できるまで対応してくださり、クラスメイトもいるので教え合うことができます。今後は、学ぶことの楽しさを忘れず勉学に励み、部活との両立ができるように時間を効率よく使っていきたいです。また、学校生活を楽しまたいです。

熊本高専に入学して



人間情報システム工学科(1年3組) 白石 楽

高専に入学して早くも2ヶ月が経ちました。やはり初めは緊張と不安で押しつぶされそうでしたが、学友と過ごす日々は思っていた以上に楽しく、授業も難しいものの頑張っています。私自身中学時代、人間関係に悩み、トラウマのようなものが残っていたことから、高専での生活に不安と恐怖が付きまとっていました。人に嫌われないように、目立たないように、そう考えていた時もありました。しかし、クラスメイトと話してみると、話は弾み、自然と笑顔になっていました。5月にはクラスマッチでクラスの仲が深まり、芦北研修では話した相手をより知ることが出来ました。

高専では、他の高校等では学ばない専門的な授業があります。高専に来たからと言って、私は機械に強い訳ではないため、タイピングやPC、アプリの扱いはとても難しいと感じています。もう義務教育は終わってしまいました。これからは自分で学び取り、復習予習を徹底しなければなりません。高専はもっとそれが多いと思います。本音を言うともちゃくちゃ楽したいです。ですが、自分で選んだ道であるからには、真剣に向き合っていこうと思っています。

5年間共に学んでいく学友を大切にしながら頑張ろうと思います。

新たな学生生活を迎えて



生産システム工学専攻1年 中原 水月

専攻科に入学して、今私は本科生のときとは違う新鮮さを感じています。今思えば、この熊本高専のカリキュラムが新しくなったのも私たちの代からでした。カリキュラムが新しくなったことで科目等が一新され、本科での5年間は沢山苦勞することもありましたが、その分学ぶことも数多くあったと感じています。さて、専攻科での学生生活が始まったわけですが、私は早速、自分の課題を見つけました。それは私自身の「学修の質・意欲」についてです。いざ新年度になり授業が始まると、本科で学修してきたことを忘れていることが多く、本科課程での自身の学修スタイルがまだまだ改善できる点があったことを痛感させられています。また、今後就活を控えている中で、今の社会についても知らないことが多すぎるといことも実感してきているところです。こうして挙げていくと、私自身まだまだ成長が必要であると感じます。おそらく今後もそういった壁が数多く出てくることと思われます。私はこの専攻科での学生生活を通して、そういった自分自身の壁やキャリアについて改めて見直しながらも、高専でのキャリアの集大成として充実した2年間にしていきたいと思います。

専攻科入学後の抱負



電子情報システム工学専攻1年 森 海

春に電子情報システム工学専攻に入学してから約2ヶ月が経過しました。課題レポートや学会発表の資料作成だけでなく、地域企業と連携したプロジェクトの準備にも力をいれているため、毎日が目まぐるしく物事が進んでいます。今までよりもさらに効率よく物事を進める必要があり、同時に、完成度の高さも求められるので忙しくはありますが、より高度なことを行っているという実感がありとても充実しています。専攻科では2年間で多くのことを学ぶだけでなく、多くの実践的な活動も行いますが、1年後には次の進路に向けた行動を起こす必要がありますので、進路について考える時間はさほど多くは残されていません。まずは、これからの研究活動やインターンシップなどの経験を踏まえて、自分の進路の方向をしっかりと見定めていきたいと考えています。

研究に関しては、本科5年生から取り組んでいる「視線操作の分身ロボット」の開発を発展させたテーマに取り組んでおり、「当たり前のことを誰でもできるように」を常に意識しながら課題解決に取り組んでいます。自分の研究目標を高い完成度で達成することは勿論、成果を学内だけでなく学外で発表していくことで新たな知見を得て、さらに自分の研究に繋がられるようにしていこうと思います。専攻科での2年間で様々な挑戦をすることにより新たな知識や視点を得て、自分の思い描く技術者としてより大きく成長していきたいと考えています。



熊本高専に入学して



機械知能システム工学科3年 アハマド ザイド ハフィズディン ビン ユスニ

はじめまして、マレーシアのザイドと申します。熊本高専八代キャンパスの留学生です。

私が熊本に来たとき、私はとても不安を感じます。慣れなければならないことがたくさんありますが教師、友人、先輩のおかげで、私はすべての問題を簡単に乗り越えることができます。3月下旬に初めてここに来てから2ヶ月が経ちましたが、私はすでに環境に慣れていると言えます。最初はここで新しい友達を作るのは難しいと感じましたが、学校行事や寮行事が多いので、他の生徒との関係を徐々に深めることができました。私はたくさんの人に会い、日本の文化や習慣について多くのことを学び、毎日とても楽しみました。これまでの経験に加えて、私は周りの人々を受け入れながら、この研究の旅を続けたいと思います。これからも頑張ります。

熊本高専に留学して



制御情報システム工学科3年 アミール ハイカル ビン モハマド リズワン

制御情報システム工学科のアミールと申します。今年の4月に3年生として、熊本高専に入学しました。あっというまに1ヶ月が経ちました。日本はすごく近代的な国だと思っていて、到着してからやはりその通りに感じました。特に熊本は自然が多くて、とてもきれいだと思います。1人で寮生活を始めて、両親の愛がしみじみと分かってきました。それと同時に、身の回りのことを友達や先生方に手伝っていただいて、本当にうれしく感じました。さらに、先輩や先生から教えていただいたことを生かすことで、日本で順調にすごせるようになりました。例えば寮生活で人と人との挨拶を欠かさないようにすることでコミュニケーションがとりやすくなりました。まだ多くの日本の文化やマナーに慣れていませんが、少しずつ頑張っています。これからもよろしくお願いします。

熊本高専に編入学して



情報通信エレクトロニクス工学科4年 野口 すみれ

今年度から私は熊本工業高校から編入しました。

私は、高校時代進学先として高専の存在を知り、技術者として人間力を備え科学技術による地域への社会貢献を目的とする理念に触れ強い憧れを持ちました。そして、高校卒業後4年生に編入学できることを知り、私の目標となりました。実際に編入が決まった時には既に3年間も高いレベルで学んできた学生達についていけるのかとても不安で合格後も落ち着かない日々を送ってしまいました。しかし、実際に編入してこれまで1ヶ月間、優しく接してくれる先生方や勉強面や生活面でも助けてくれる在学生達にとっても感謝しています。

とてもレベルの高い授業にまだまだ戸惑う日々ですが、高専生として卒業すること、そして、高専の理念に沿った技術者となることを目標にこれからの学生生活を送っていきます。

学生会より



熊本キャンパス学生会 会長 濱崎 勝巳

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。学生会一同、皆さんの入学を心待ちにしておりました。長いようで短い高専での5年間を有意義なものにしていってください。私たちも、皆さんが楽しい高専生活を送れるように精一杯サポートしてまいります。この学校を盛り上げていくために様々なイベントを企画しております。5月に行われたクラスマッチは楽しんでいただけたでしょうか?皆さんの協力のおかげで無事に終わることができました。ありがとうございます。これから、梅ちぎり、七夕、クリスマスイベントなどといった学生

の皆さんがもっと学校を楽しめるような企画を行おうと思います。学生会役員一同、全身全霊、本気で作り上げていくので期待しておまちください!

1年生の皆さんはこの学校での生活で楽しいこと、きついこと様々なことを感じていると思います。振り返れば全部いい思い出になります。これからの学校生活を精いっぱい楽しんでください!



Welcomeとう高専



八代キャンパス学生会 会長 森 秀

ついこの前ブレザーを着た1年生が入学してきたのに、あっという間に半袖に!!季節の変化を感じる今日この頃です。こんにちは、八代キャンパスで学生会会長を務めております、生物化学システム工学科の森秀と申します。

5月に開催される予定であった球技大会が雨天中止になり、ショックだった学生も多かったでしょう。ですが、球技大会以外にも高専祭やクリスマスイベントなど学生の皆さんが楽しめるイベントを開催する予定です。このようなイベントなどで学科や学年の垣根を超えた学生同士の交流が深まればいいなと思って

おります。

さて、学生会では1年生に少しでも早く馴染んでもらうためにレクリエーションを行いました。ですが、レクリエーションの必要がないほど元気な1年生で逆に僕たちが馴染ませてもらっていました。

これから、大変なこともあるかもしれませんが友達と協力し、時には先輩たちを頼ってより良い高専生活にしてください。



寮生会より



熊本キャンパス明和寮 寮長 水野 李咲

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

その中でも新入寮生の皆さん!ようこそ明和寮へ!!!

初めて親元を離れる経験をしている方が大半で、寂しさや不安でいっぱいだと思います。私が入寮したときも、現在の皆さんと同じ気持ちで毎週家に帰省していました。

私は明和寮で過ごす5年間で、皆さんにたくさんの「挑戦」をして欲しいです。周りを見てみると、自分と同じような人、あるいは自分とは全然違う人など多種多様な人間がいます。たくさんの人と関わり、様々な経験をして、人として成長し

ていって欲しいと思っています。

特に女子寮の皆さんは、入寮して早々に国際寮から北棟(女子寮)への移動もあるので大変だと思いますが、これから共同生活を共にしていく仲間として協力していけたらと思います!

最後に、新入寮生の新たな生活の始まりを祝し、明和寮寮生会を代表して歓迎の言葉とさせていただきます。



寮生会より



八代キャンパス八龍寮 寮長 寺前 稜士

こんにちは、男子寮長の寺前です。ゴールデンウィークも終わり、新1年生も高専での生活、寮での生活に慣れてきたのではないのでしょうか。

6月に入ると学校ではすぐに前期中間テストがあります。ゴールデンウィークで生活習慣が乱れてしまった学生は1限目に遅れないよう気を付けましょう。

前期中間テストは1年生にとっては高専での初めての定期テストでドキドキしていることと思います。高専のテストは過去問が命、先輩から各教科の過去問を受け取れば対策を練られます。何とかがんばりましょう!

寮では今後、マテカ(寮生の勉強会)や寮生総会、新寮長・副寮長選挙へ向けた活動が始まります。特に、1、2年生はマテカへ積極的に取り組み、定期試験や資格の取得に力を入れてほしいと思います。高専は時間があり資格が取得しやすいと言われていますが、実際は課題、部活、研究、アルバイトと忙しい毎日です。計画的に時間を確保してうまく活用していきましょう。

寮では今後、マテカ(寮生の勉強会)や寮生総会、新寮長・副寮長選挙へ向けた活動が始まります。特に、1、2年生はマテカへ積極的に取り組み、定期試験や資格の取得に力を入れてほしいと思います。高専は時間があり資格が取得しやすいと言われていますが、実際は課題、部活、研究、アルバイトと忙しい毎日です。計画的に時間を確保してうまく活用していきましょう。



アントレプレナーシップ教育施設完成

ファーストペンギンズプロジェクト 総括 柴里 弘毅 上久保 祐志

熊本高专では、新しいことにチャレンジする学生を一人でも多く輩出することを目指し、アントレプレナーシップ教育と課題発見・課題解決型の教育に力を入れています。この取り組みを「ファーストペンギンズプロジェクト」と呼んでいます。このプロジェクトを推進するため、様々な社会人や地域社会と接し自分の視野を広げる機会を提供するとともに、学生の自主的活動を応援するための活動拠点を整備しています。

熊本キャンパスでは、ワーキングコモンズ、ワーキングラウンジ、ファブリケーションラボ、AT ラボを整備しました。ワーキングコモンズとワーキングラウンジはアントレプレナーマインドセットを醸成するための象徴的空間で、授業だけでなく学生ピッチや STEAM 教育への活用など多機能性を有しています。入り口ではイメージキャラクター「吟一郎（ぎんいちろう）」がお出迎えしており、皆さんをワクワクさせてくれます。ファブリケーションラボは試作品を作成するための起業家工房です。高精度の3D プリンターや高性能なミシンなども設置されており、自由な発想でものづくりが可能です。AT ラボは、本校の特徴の一つである福祉や支援技術に特化した社会実装を行うための拠点です。地域の特別支援学校や教育委員会との連携活動も行っています。

八代キャンパスでは、コワーキングホールとファブリケーションラボが新設されました。コワーキングホールでは、授業や講演会、プレゼンなどに利用しているほか、協働でのモノ・コト・アイデアづくりや議論など、学生の学びを高めたり視野を広げたりするための活動を支援するスペースとして常時開放されており、学生達も積極的に利用しています。ホール内は一つの空間として開放的に設計されつつ、区別をすることで多様な利用が可能となっています。ファブリケーションラボには、3D プリンターを設置した3D プリンターラボ、木工 CNC ルーターを設置した建設素材加工ラボなどが新設され、アイデアの具現化に必要な作業環境の構築が実現できています。

アントレプレナーシップ教育施設を大いに活用して、ファーストペンギンとしての一步を踏み出しましょう！



ワーキングコモンズ



コワーキングホール

ファブリケーションラボ

熊本高専に着任して



学務課長 鮫島 浩一

令和6年4月1日に学務課長（八代キャンパス）として着任いたしました鮫島浩一です。生まれも育ちも宮崎で、この度、5年間勤めました都城高専からの異動になります。これまで、大学事務に約28年、高専事務に5年携わってきており、高専勤務が6年目になりましたので、ベテランの域に達したのだと自負しております。（笑）

自宅のある宮崎県宮崎市に妻と子供3人を残しての、単身赴任生活をしており、家族の有難さを痛感している今日この頃です。子供3人は、19歳と16歳の双子で、本校の学生の皆さん達と同じ年代になり、学生の皆さんを我が子を見守るような感じで、時には厳しく、時には優しく接していきたいと思っております。

学生個人の進路に大きく影響する仕事に携わっているという、「やりがい」と「責任」を感じ、日々を過ごして参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

学生のみなさんのために



学生課課長補佐 松崎 潤子

この3月まで熊本大学で学生生活課副課長をしておりましたが、4月1日付けで学生課課長補佐に着任いたしました。これまでも長らく熊本大学で学生と接する部署に配属されていたため、学生は身近に感じていたところですが、高専での勤務は初めてです。学生のみなさんの元気を挨拶に、毎日元気をもらっています。

出身は熊本なので、熊本高専のことは幼い頃から知っていましたが、高専に進学した友人はなく、漠然と「大学と高校の間みたいなところ」というイメージでした。

実際、高専で勤務してみると、大学と大きく異なる点は先生方の指導です。とても丁寧なことに驚きました。大学では自立も自律も求められ、すべてにおいて能動的に動かなければ、あっという間に取り残され留年してしまいます。近年、成人年齢が18歳になったことから、大学でも以前より「責任ある大人」として扱われていますし、法的にも自立せざるを得ませんが、高専生は、先生にも保護者にも守られており、恵まれた環境にあると感じています。

私自身も、教員・保護者の方々とともに、学生のみなさんのために少しでもよい学びの環境を提供したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

転入者等一覧

【学外からの異動】

氏名	所属・職名	前任地	異動日
鮫島 浩一	学務課長(八代C)	都城工業高等専門学校総務課長	R6.4.1
加来 知行	総務課課長補佐(企画広報担当)(八代C)	九州大学医系学部等総務課総務第一係長	R6.4.1
飯尾 奈美	管理課課長補佐(八代C)	熊本大学国際部国際教育課副課長	R6.4.1
松崎 潤子	学生課課長補佐(熊本C)	熊本大学学生支援部学生生活課副課長	R6.4.1
八並 美文	総務課研究・社会連携係長(熊本C)	熊本大学病院事務部医療サービス課係長	R6.4.1
坂崎 浩成	管理課契約係長(八代C)	熊本大学生命科学系事務部生命科学先端研究事務課係長	R6.4.1
久保 俊輔	管理課管理係長(熊本C)	琉球大学財務部財務企画課予算・資金運用係長	R6.4.1
伊豫ひなこ	管理課員(財務係)(八代C)	熊本大学病院事務部経理課	R6.4.1

【キャンパス間異動】

氏名	所属・職名	前任地	異動日
野々原知香	総務課課長補佐(総務担当)(八代C)	総務課課長補佐(企画運営担当)(熊本C)	R6.4.1
前田 祥達	管理課課長補佐(熊本C)	管理課課長補佐(八代C)	R6.4.1
杉山 千栄	総務課課長補佐(企画運営担当)(熊本C)	学務課学生係長(八代C)	R6.4.1
織田 憂子	総務課国際交流推進係長(熊本C)	総務課総務係長(八代C)	R6.4.1
太田黒恵美	学務課学生係長(八代C)	総務課国際交流推進係長(熊本C)	R6.4.1
福永 恵巳	学務課寮務係長(八代C)	学生課教務係長(熊本C)	R6.4.1
大島 圭代	総務課員(庶務係)(熊本C)	総務課員(人事労務係)(八代C)	R6.4.1

【新規採用】 (※非常勤職員については、週 20 時間以上勤務の者のみ掲載)

氏名	所属・職名	異動日
大島 有貴	総務課員(企画広報係)(八代C)	R6.1.1
入江 英也	リベラルアーツ系理数グループ准教授(熊本C) ※クロスアポイントメント制度	R6.4.1
西村 歌奈	管理課員(契約係)(八代C)	R6.4.1
下田 洋史	技術・教育支援センター技術職員(熊本C)	R6.4.1

新年度を迎えて



情報セキュリティセンター 副センター長 藤井 慶

情報セキュリティセンターでは、両キャンパスのネットワークやサーバなどのインフラ、教育・研究に利用するクラウドサービスやアカウント管理、演習 PC などの環境整備や活用支援を行っています。

さて、ICT(情報通信技術)の分野は常に変化しています。最近のニュース等を見ていると、生成系 AI、DX、データサイエンスなどの用語や話題を見かけます。また日本の教育分野では、令和4年度に高校で必修科目「情報 I」が始まり、今年度の大学入学共通テストには情報科目が組み込まれます。私が高専生だった頃と今とを比べると、専門の ICT 技術者として得るべき知識量は増え習得すべき技術レベルは上がっていると感じます(冒頭に挙げたセンターの各種業務を進める際にも同じことを痛感します)。しかし授業の時間は昔も今も限られていて、授業だけですべてを包括的に得ることはできません。

一方、今はインターネットという知の宝庫があります。いつでもどこでも自分が望む知識を獲得しやすくなったことは進歩であるはずですが、インターネットの方から専門の知識がやってくることはまずありません。知識獲得するためには、各人が適切に取りに行かねばなりません。そこで、ぜひ主体的かつ日常的にインターネットや BYOD を活用して下さい。そして ICT に興味関心を持ち、生活の中に組み込んで下さい。ICT が皆さん自身の未来を開拓するものになることを願っています。

グローバルに活躍できる技術者をめざして



IDEATHON2023 in Kumamoto

グローバルリーダーシップ育成センター センター長 大隈 千春

本校では、海外研修旅行や海外協定校との様々な国際交流プログラムを通じて国際性を育んでいます。昨年からは新型コロナも第5類分類となり、国際活動も徐々に再開しています。研修旅行も熊本キャンパスは4年次3学科、八代キャンパスも3、4年生の2クラス相当の参加希望学生が海外研修を行う予定です。研修旅行以外にも、香港での IDEATHON や低学年向け台湾研修、シンガポール英語研修など国際活動プログラムの開催を予定しています。円安や世界的な物価上昇もあり、日本人にとっては少々つらい状況ではありますが、協定校の協力も得て充実した研修内容、参加費用も抑えたものとなっています。

さらに熊本高専では、国内でできる国際体験の機会もたくさんあります。例年3年次に入学する留学生をはじめとして研究プロジェクトで受け入れている短期留学生との交流、協定校との技術交流会など国内にしながら国際体験ができます。

15歳から20代前半の多感な成長期、目の前にあるチャンスを最大限に活かして下さい。高専という環境の中で行う国際活動を通じて、技術だけでなく国際的視野を備えた技術者をめざしましょう。

社会を知り、地域と共に成長する



地域協働プロジェクトセンター センター長 中島 栄俊

学生の皆さんは「地域協働プロジェクトセンター」をご存知でしょうか？新入生の皆さんだけでなく本科生、専攻科生の皆さんにとってもあまり馴染みのない組織ではないかと思います。地域協働プロジェクトセンターは地域の企業・自治体と高専の教職員・学生が協力し、知恵を出しあいながら問題解決を試みるための結びつきや、そのような取り組みによる人材育成を支援する組織です。

企業・自治体の多くは様々な悩みや問題を抱えており、その問題解決に取り組んでいます。その内容は最先端レベルから、アイデアと技術力次第で学生の皆さんでも解決できる可能性があるものまで多岐に

わたります。

入学して間もない時はこういった現実的な課題にチャレンジする機会がなかなかないかもしれませんが、学年が上がるにつれて授業などで得られた知識・技術で問題解決に取り組むことができるようになってきます。更に卒業研究に着手するタイミングで企業との共同研究の一部を担当するなど先端的な問題・課題に専門的な知識を生かす機会が増えてきます。こういった機会を経験することで皆さんの実践力が向上していきます。地域協働プロジェクトセンターではこのような機会を増やし、皆さんの技術力が向上するような仕組みづくりを考えていきますので、能動的に対外的な活動に参加し活躍されることを願っています。

技術・教育支援センターより



技術・教育支援センター センター長 入江 博樹

技術・教育支援センターは両キャンパスに設置されており、熊本キャンパスには半導体系、情報通信系、制御系、プログラミング系の ICT 分野に特化した技術職員、八代キャンパスには機械加工系、生物化学系、ICT系、土木測量系等の技術職員により研究・教育のサポートを行っております。主な活動として各科のカリキュラムにおける実験・実習の支援、卒業研究などで使用する装置の支援から構内ネットワーク環境に

関する支援を行っています。令和5年度にはアントレプレナーシップ関連の施設の一つとして、両キャンパスにファブ리케이션ラボが完成しました。学生たちの自由な発想でものづくりが出来る環境が充実しました。技術・教育支援センターでは3Dプリンタやレーザ加工機、木工CNC装置などの設置や整備の支援を担当しました。学生さん達に設備や装置類を大事に使ってもらえて使いやすい環境になるように、センターでは運用面での環境づくりをお手伝いしています。ファブ리케이션ラボの使い方についての質問等があれば、センター関連の教職員に声をかけてください。



学生支援室から

八代キャンパス 学生支援室長 小鉢 暢夫

まずは、新1年生の諸君、入学おめでとうございます。また、本科・専攻科の在校生の皆さん、新学期を気持ちよく始めることができましたか。

さて、数年前から本校でピアサポーター育成という取り組みが行われていることをご存じですか。令和3年にはスクールソーシャルワーカーの先生からクラブリーダーに対して講演会も開かれています。心優しい皆さんも「何かお困りですか」や、「お手伝いできることはありますか」など、まずは相手の気持ちを考えて、お声掛けすることから始めても良いかもしれませんね。

一方で、自分自身が悩んでいるときはどうされていますか。できれば身近な方や信頼できる所に相談することも考えて下さいね。熊本高専では担任、保健室や学生支援室員などが窓口になっています。スクールカウンセラーの先生もお見えになっておられます。

学生の皆さんが、安心して学校生活を送れるようにお手伝いできれば幸いです。

熱中症の予防対策について

熊本キャンパス 看護師 中西 博子

1 自己対策

栄養、睡眠、適度な運動を行い暑さに耐えうる体力をつけておくこと。【暑熱順化】

2 熱中症対策の準備物品

帽子、UV加工の着衣

日焼け止めのクリームやジェル、日焼け後のローション

ネッククーラー、うちわ、扇子、ミニ扇風機

冷麦茶：前夜にボトルの半分に麦茶を注ぎ傾けて冷やし固め、朝から冷たい麦茶を入れる。

塩分と糖分やミネラルを含んだ水分補給、塩分チャージタブレット、梅干し、塩昆布など

不織布（体が熱を持った場合は、氷水でぬらして拭く、貼ると熱が発散）

ペットボトルに水を入れて冷凍し布で覆う（首や太もも付け根を冷やす）

3 症状出現時の対応

ミネラル入り水分をとる、直ぐに衣類をゆるめて、涼しいところで休む、体を冷やす（脇、ふと腿の付け根）

意識がもうろうとしてきたら、救急車を呼んで医療機関で診察を受けます。

- LINE登録すると熱中症警戒アラート・暑さ指数の情報発信を受け取ることが出来ます。LINE公式アカウント「環境省」(<https://lin.ee/mj3KmWD>)



「新・閃きイノベーション 2024」の発表会を実施しました。

令和6年4月19日(金)、(一社)熊本県工業連合会と本校が主催する「新・閃きイノベーション 2024」の発表会を実施しました。

昨年度同様、熊本キャンパス・八代キャンパスおよびオンライン参加者をWeb会議システムで接続するハイブリッド形式で実施しました。対面の会場には、令和5年度に新設されたアントレプレナーシップ教育施設「ワーキングcommons(熊本キャンパス)」および「コワーキングホール(八代キャンパス)」を使用しました。

発表会では、熊本県工業連合会代表理事会長 田中稔彦様(金剛株式会社代表取締役社長)から開会の挨拶をいただき、企業出題の課題解決に取り組んでいる20グループの中から、機械知能システム工学科・建築社会デザイン工学科・情報通信エレクトロニクス工学科・電子情報システム工学専攻の、計8グループの学生たちが発表を行いました。出題企業5社・2団体を始め、(一社)熊本県工業連合会会員企業・本校学生・教職員など約110名が参加し、学生が提案するアイデアに対して活発な意見交換が行われました。



株式会社 SUMCO 様からの「寄附物品寄贈式・感謝状贈呈式」を行いました。

令和6年5月22日(水)、熊本キャンパスにて、株式会社 SUMCO 様からの「寄附物品寄贈式・感謝状贈呈式」を行いました。

株式会社 SUMCO 様は、1999年に設立した、シリコンウエーハ(半導体の製造に欠かせない材料)の全世界におけるシェア約3割を占める、製造・販売を行う専門メーカーです。この度、令和4年度より推進している半導体人材育成事業にご賛同いただいた株式会社 SUMCO 様から、半導体技術者育成に資する物品の寄附のお申し出があり、寄附物品寄贈式及び感謝状贈呈式を執り行いました。

式典終了後には、SUMCO 様から本校の学生に寄附物品の説明をいただくとともに、学生からの結晶引上げ工程などに関する質問にお答えいただきました。



「令和6年度大学・高専機能強化支援事業(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援:支援2)」の事業実施機関として本校が選定されました。

「大学・高専機能強化支援事業」は、大学又は高等専門学校を設置者に対し、デジタル・グリーン等の成長分野の学部等の設置等に必要な資金に充てるための助成金を交付することにより、全国各地における当該成長分野の学部等の設置等を促進することを目的とした助成事業です。

本校では、熊本キャンパスの電子情報系3学科を電子情報通信工学科、知能制御情報工学科、情報工学科(いずれも仮称)に名称変更(教育課程の変更を伴う)し、各分野に必要なとされる情報技術をより深く修得し、ソフトウェア開発等で多様な社会的課題の解決に活用できる人材を育成します。また、入学定員増(令和15年度までの時限付き)を行います。

八代キャンパスの複合・融合工学系3学科(機械知能システム工学科、建築社会デザイン工学科、生物化学システム工学科)には、新たに情報融合系コースを設け、各自の専門分野における知識と技術を有しつつ情報技術も応用できる能力を有する人材の育成を目指します。また、情報教育セキュリティセンター(仮称)を設置し、全学科共通情報系科目を設定し全学生に対して、本校全体で情報系人材育成を行っていきます。

なお、上記は令和8年4月の開設(学生受入れ)に向け構想中のもので、これから文部科学省へ認可申請や届出が必要であり、今後、内容が変更となる可能性があります。

熊本キャンパス

9月

24日(火) 後期授業開始

10月

1日(火) 開校記念日

13日(日) 高専ロボコン九州沖縄地区大会(都城)

18日(金)~24日(木) 授業参観、学級懇談会

19日(土)~20日(日) 全国高専プロコン(奈良)

26日(土)~27日(日) 電波祭

11月

2日(土)~3日(日) 全国高専デザコン(阿南)

9日(土)~10日(日)・12日(火) 九州沖縄地区高専体育大会(ラグビーフットボール)

17日(日) 高専ロボコン全国大会(国技館)

20日(水)~26日(火) 後期中間試験

12月

17日(火) キャリアセミナー

25日(水)~1月7日(火) 冬季休業

1月

18日(土) 本科推薦選抜検査(入学試験)

22日(水) 特別研究発表会(専攻科)

24日(金)~30日(木) 後期定期試験

25日(土)~26日(日) 全国高専英語プレコン(オリセン)

2月

9日(日) 本科学力選抜検査(入学試験)

20日(木) 卒業研究発表会

26日(水)~27日(木) 冬季クラスマッチ

3月

1日(土)~31日(月) 学年末休業

23日(日) 卒業式・修了式

八代キャンパス

9月

24日(火) 後期授業開始

10月

1日(火) 開校記念日

13日(日) 高専ロボコン九州沖縄地区大会(都城)

19日(土)~20日(日) 全国高専プロコン(奈良)

25日(金)~28日(月) 高専祭

11月

2日(土)~3日(日) 全国高専デザコン(阿南)

9日(土)~10日(日)・12日(火) 九州沖縄地区高専体育大会(ラグビーフットボール)

17日(日) 高専ロボコン全国大会(国技館)

20日(水)~26日(火) 後期中間試験

30日(土) キャリア研修会

12月

25日(水)~1月7日(火) 冬季休業

1月

18日(土) 本科推薦選抜検査(入学試験)

22日(水) 特別研究発表会(専攻科)

24日(金)~30日(木) 後期定期試験

25日(土)~26日(日) 全国高専英語プレコン(オリセン)

2月

9日(日) 本科学力選抜検査(入学試験)

21日(金) 卒業研究発表会

3月

1日(土)~31日(月) 学年末休業

23日(日) 卒業式・修了式

※行事予定については、変更になる可能性もありますので、最新の予定一覧(本校公式Webに掲載)をご確認下さい。

熊本高専だより 2024.SUMMER No.37

【発行】広報戦略室 令和6年8月

編集後記

身近な情報に目を通してみると、暗い話題ばかりでなく明るい話題や期待感あふれる話題も増えたように感じます。地域の変革や活気に負けず劣らず、本校学生も全国を舞台に活躍されています。昨年の干支は卯年、今年は辰年。これまでの苦労が報われ、学生たちと関係者の皆様にも、「卯辰(うだつ)の上がる実り多き良い年」となっていますように。



熊本高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Kumamoto College

熊本キャンパス

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2
TEL 096-242-2121

八代キャンパス

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627
TEL 0965-53-1211

<https://kumamoto-nct.ac.jp/>

